

# 「大震災からの教訓」

## 企業が求める緊急地震速報システムとは

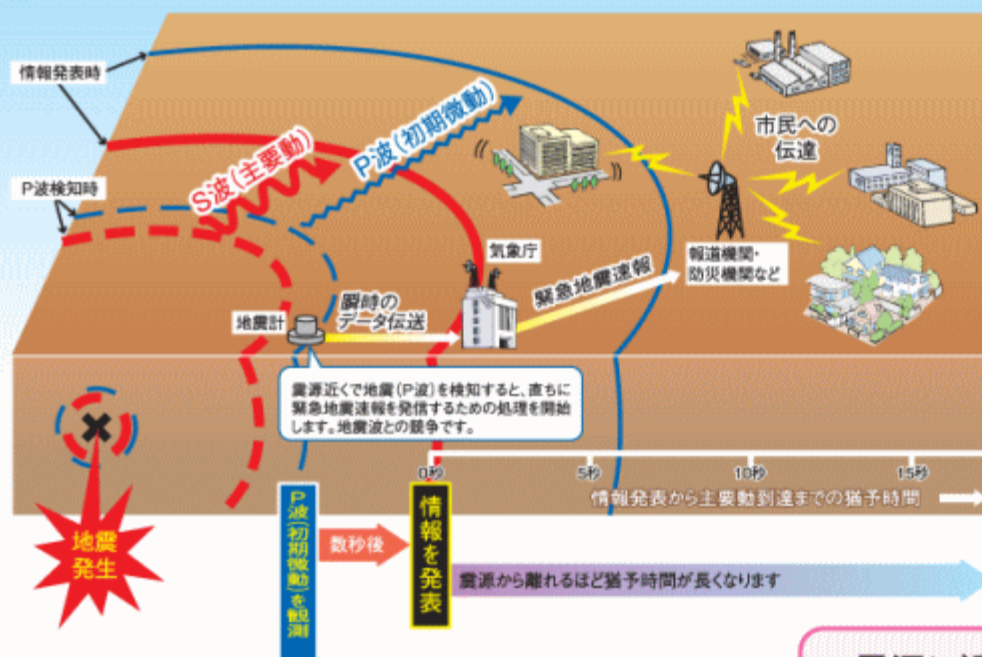
平成25年11月22日  
株式会社ニシハタシステム  
代表取締役 西畑 恭二

# 緊急地震速報とは 2007年12月1日 施行

最大震度5弱以上の揺れが予想された時、重大な災害が起こるおそれのある旨を警告して発表するもの

## <しくみ>

緊急地震速報は、震源に近い観測点で観測された地震波を解析して、強い揺れが予測される地域を、強い揺れの前にお知らせするものです。



- 震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します
- 地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、素早くお知らせします
- 震度5弱以上と予想された場合は緊急地震速報(警報)を發表します。

震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります  
予測震度は±1程度の誤差を伴います

# 緊急地震速報 震度5弱以上の発表件数

## 2008年4月～2011年3月12日まで 34回

### 1. 警報を発表した地震 および 最大震度5弱以上を観測した地震

	震央等※	マグニチュード	観測 最大震 度	予想 最大 震度
2008/4/28 2:32	宮古島近海	5.2	4	5弱
2008/5/8 1:45	茨城県沖	7	5弱	5弱
2008/6/14 8:43	平成20年(2008年) 岩手・宮城内陸地震	7.2	6強	6強
2008/6/14 9:20	同 最大余震	5.7	5弱	5弱
2008/6/14 12:27	同 余震	5.2	4	5弱
2008/7/8 16:42	沖縄本島近海	6.1	5弱	5弱
2008/7/24 0:26	岩手県沿岸北部	6.8	6弱	5弱
2008/9/11 9:20	十勝沖	7.1	5弱	5強
2008/11/22 0:44	根室半島南東沖	5.2	4	5弱
2009/8/11 5:07	駿河湾	6.5	6弱	5弱
2009/8/25 6:37	千葉県東方沖	4.1	-	5弱
2009/10/30 16:03	奄美大島北東沖	6.8	4	5弱
2010/2/27 5:31	沖縄本島近海	7.2	5弱	6弱
2010/3/14 17:08	福島県沖	6.7	5弱	5弱
2010/9/29 16:59	福島県中通り	5.7	4	5弱
2010/10/3 9:26	新潟県上越地方	4.7	5弱	5弱
2010/12/2 6:44	石垣地方中部	4.6	3	5弱

	震央等※	マグニチュード	観測 最大震 度	予想 最大 震度
2011/3/11 14:46	平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地 震	9	7	6弱
2011/3/11 17:40	福島県沖	6.1	5強	5強
2011/3/11 19:35	福島県沖	5	4	5強
2011/3/11 3:12	福島県沖	6.1	3	5弱
2011/3/12 3:59	新潟県中越地方	6.7	6強	6弱
2011/3/12 4:08	茨城県沖	5.2	4	5弱
2011/3/12 4:16	新潟県中越地方	3.6	3	5強
2011/3/12 4:31	新潟県中越地方	5.9	6弱	5強
2011/3/12 5:11	三陸沖	6.4	3	5強
2011/3/12 5:42	長野県北部	5.3	6弱	5弱
2011/3/12 6:19	長野県北部	3.7	3	6弱
2011/3/12 6:34	福島県沖	4.8	4	6強
2011/3/12 6:48	千葉県東方沖	4.6	3	5弱
2011/3/12 22:15	福島県沖	6.2	5弱	5弱
2011/3/12 22:24	宮城県沖	5	3	5弱
2011/3/12 22:26	岩手県沖	5.4	2	5弱
2011/3/12 23:34	長野県北部	3.7	5弱	6強

# 緊急地震速報(予報)発生件数 月別

## 月別発表件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2007年										48	33	39	120
2008年	35	41	48	42	70	75	63	47	58	46	40	57	622
2009年	44	39	24	34	24	54	36	65	47	44	39	47	507
2010年	53	44	50	36	27	35	47	51	40	50	40	34	507
2011年	50	74	1196										1320
												合計	3076

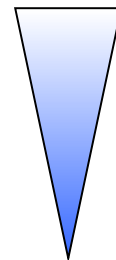
1. 2007年10月～2011年2月まで 毎月平均 46回発生

2. 2011年3月 東日本大震災では3月だけで 1196回発生

# 地震が揺れる前に分れば

地震の揺れが揺れる前にわかれば、死ななくてすみます。  
怪我をしなくてすみます。

例) 駅でプラットフォームに立っている時、電車が入ってくる際に、突然うしろから押されると線路に落ちてしまいます。  
たった2秒前でもうしろから肩をトントンと叩かれると……落ちなくてすみます。  
この効果が緊急地震速報の凄い効果です。

大きな揺れが来るまでの猶予時間	緊急地震速報導入後の死傷軽減率		
2秒	25%軽減	 <p>怪我人が多い</p> <p>怪我人が少ない</p>	わずかな時間だが、最低限の安全確保により致命的な怪我から回避できる。心構えができる。
5秒	80%軽減		学校における実証実験で訓練済みの生徒の100%が机の下にもぐれることが可能。心構えができる。
10秒	90%軽減		10秒あれば命は助かるとの言葉より。備えがあれば十分な避難行動が可能に。
20秒	95%軽減		落ち着いて、家族や周りの人々に声かけができ、身の安全が確保できる。安全な場所へ避難ができる。

『緊急地震速報導入による社会へのインパクト』(東大生産技術研究所 目黒レポート)を参考

# 緊急地震速報受信機普及の現状及び火災報知機の普及

## 1. 緊急地震速報受信機普及率

自治体・・・20%

小中学校・・・10%⇒全国5万2000校に対して今後導入予定

**企業(大手・中堅)・・・・・・10%～14%**

- ・もっとも取り組まないといけない企業でもまだまだ導入実績は少ないのが現実。

## 2. 住宅用火災警報器の設置義務化による普及

- ・市町村条例の規定により平成23年6月1日までに順次義務化。
- ・寝室、階段室は全国一律で義務化。
- ・台所などは市町村条例で義務化。

**義務化されていても・・・なかなか普及しないのが現実**

なぜ3.11大地震があっても緊急地震速報機器の普及が進みにくいのか？

## 各企業様防災担当者としては・・・

1.BCP(事業継続計画)の関係から取り組まないといけないと解かっているも・・・。

2.同業種のお企業が導入したと聞いても・・・。

3.取引先から導入しているのかとアンケートが来ても・・・。

⇒今、導入を検討している。……でもそのホンネは・・・？

## ホンネ……いつ来るかわからない地震に対して

①イニシャルコスト・ランニングコスト等経費がかかりすぎる。

それが全国の拠点・工場となると……予算がない。

②わずかに数秒前にわかっていても仕方がないのでは。

③防災マニュアルを整備していない。運用方法がわからない。

……などいろいろなホンネがあります。

# 普及させる為の解決策

## ①緊急地震速報・津波警報システム**無料導入プランの推進**

いつ来るかわからない地震に対して、経費を一切かけずに無料で導入できるプランをご用意。(イニシャル・ランニングコスト全て無料)

⇒**弊社の緊急地震速報受信機器を普及させるという社会貢献活動に、大手飲料メーカーが協賛。**

## ②地震対策マニュアルの整備をお手伝い

現状大手企業様でも利用している、緊急地震速報機器を使ったマニュアルを構築。

## ③実際の防災訓練をお手伝い

年1回・2回実施される防災訓練も全国的にお手伝い。

30秒前の訓練・・・10秒前の訓練・・・2秒前の訓練とは  
2秒前でもヘルメットは被れます。



# NS減災速報システム無料導入プランの概要



◇最大被害をもたらす直下地震にも対応する緊急地震速報機器NS減災速報システム【伝】の無料導入プラン。今回飲料メーカー様にご協賛いただき、

何時来るか分からない地震に対して経費をかけずに

**NS減災速報システム【伝】を無料導入できるプランをご用意できました。**

## 「お客様最大のメリット」

緊急地震速報受信機器NS減災速報システム【伝】本体・設置調整・配線工事・配信サービス料金(1年間3.6万、5年間約19万)・等、**5年間合計約50～約70万円が完全経費負担無しでの無料導入が可能**となります。

## 「条件」

1. 協賛メーカーの緊急地震速報対応自販機で他社**入替**もしくは**新設**での提案となります。
2. 契約期間は5年間となります。

※契約期間終了後は協議の上、再契約となります。

お客様の要望事項(新機種入替え・サービス料金再度無料等)を協議の上、さらに5年間の再契約となります。

## 「無料導入可否調査」

現状の自販機の販売本数手数料、条件等の確認。⇒

**協賛メーカーが無料プランのシミュレーション**を行います。

シミュレーション結果により無料での提案が出来ない場合があります。

但し、また新たなご提案・導入方法がございます……………

お問合せ フリーダイヤル 0120-775-956

〒640-8342 和歌山市友田町4丁目95番地  
株式会社 ニシハタシステム関西本部

# 自販機プランと買取プランとの違いは？

	自販機無料プラン	買取プラン
費用	本体、設置調整、配線工事、配信サービス料金などの経費を一切かけることなく無料で導入できます。	有償
ランニングコスト	初期費用だけでなくランニングコストも不要です。	ランニングコストが発生する
所有権	緊急地震速報受信機が無償貸与の形を取っているため資産計上が不要です。	自社の所有物として資産計上しなくてはならない
保守	保守サービスが付いているので、万が一のときでも対応いたします。	なし(有償)
付帯工事	スピーカー増設等付帯工事も協賛の範囲で無料で出来ます。	有償
5年後のメリット	5年後に再び協賛が出ることによって、本体機器の交換、スピーカー増設等付帯工事も可能です。	そのまま(有償で買い替え)
	5年目以降も再契約により、ランニングコストが不要で、無料利用できます。	永遠にランニングコスト必要
導入までの期間	経費を掛けることが無いので、稟議などの社内手続きが簡単になり、早く導入できます。	稟議など社内手続きが煩雑



## 講演会・セミナーによる普及活動

全国各地で講演・セミナーを実施し、緊急地震速報機器の普及に努めております。(抜粋)

平成24年1月 大阪府和泉市テクノステージにて  
「地域防災の取り組み」を講演



平成23年8月 大阪府岸和田市大阪鉄工金属団地協同組合にて  
「緊急地震速報の有効活用」を講演



平成23年6月 愛知県名古屋市豊田通商エネルギー様にて  
「緊急地震速報と安否確認システム」を講演

平成23年2月 愛知県名古屋市名古屋石油コンビナートにて  
「緊急地震速報の導入と取り組み」を講演

